

7月2日：大型株はまちまちだったが、VN 指数は3週続伸

ベトナム株は3週連続の上昇となり、プラス圏で引けた。

ホーチミン市場のVN 指数は0.23%高の1,420.27ポイントだった。

一方、HNX 指数は0.7%高の328.01ポイントだった。

指数はそれぞれ上昇したものの、売買高はわずかに減少し、大型株はまちまちな展開となった。

売買高は2つの市場で合わせて8億5,450万株、売買代金は29兆6,000億ドン（13億米ドル）を超えた。特にオーダーマッチングによる取引は、ホーチミン市場で4%減少し約22兆8,000億ドンだった。

大型株は売り買い拮抗した。VN30 指数のうち15銘柄が下落、14銘柄が上昇。1銘柄は変わらずだった。

モバイル・ワールド・インベストメント（MWG）、ペトロベトナムガス（GAS）、VPバンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）、FPTグループ（FPT）は1~5%と上昇した。一方でベトコムバンク（VCB）、ビナミルク（VNM）、ビンググループ（VIC）、ホアファットグループ（HPG）は売られ、マーケットの重しとなった。

前日2,460億ドンを売り越していた外国人投資家は予想外なことに買い越した。買い越し金額は1兆9,000億ドンだった。

ノバランド不動産投資グループ（NVL）は1兆9,000億ドンと外国人投資家に最も買われた。そのうちほとんどがプットスルー取引で買われた。同社の株価は1%下落し、終値は119,000ドン（5.13米ドル）だった。

「新しい取引システムの運営が始まろうとしており、マーケットの地合いは良いです。このことはVN 指数が1,420ポイントを超えることに追い風となった」（BIDV証券）

FPTグループが手掛けたホーチミン市場の新しい取引システムは、7月5日にインターネットに接続される予定だ。同システムは73社の証券会社が参加し運用テストが行われており、一日あたりの注文処理能力も現在の90万件から300~500万件へと大きく伸びることが期待される。

「VN 指数は今後 1,430～1,450 ポイントの目標株価を目指すと予想される」（ベトドラゴン証券のアナリスト）

「それゆえ、投資家はマーケットの上昇に伴い、高値での利益確定売りが可能となる。その一方で、買い集めた後に堅調な動きである銘柄を短期間で利益を確保することも可能となる」（同証券会社のアナリスト Phuong Nguyen 氏）

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。